

< 全国の大学就職支援担当部署・窓口対象 >

「マイナビ 2021 年度キャリア・就職支援への取り組み調査」を発表

～ 5 割近くが前年より「負担増加」と回答。コロナ禍で、就職支援もオンライン化が進む ～

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：中川信行）は、全国の大学就職支援担当部署・窓口 601 回答（425 大学 + 176 キャンパス）を対象とした『マイナビ 2021 年度キャリア・就職支援への取り組み調査』を発表しました。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通りです。

同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各 1 回答として集計

《TOPICS》

キャリアセンターの負荷は 2021 年卒と比べて「増えた」が 49.6%（前年比 12.3pt 増）と大幅に増加。WEB・対面でのハイブリッド対応や、コロナ禍で悩む学生からの相談増が背景に【図 1】

【図 2】

就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会は、日程がやや後ろ倒しも学生の参加人数は増加。オンラインで参加しやすい環境に【図 3】【図 4】

新型コロナウイルス感染拡大の影響でキャリア・就職支援もオンライン活用が進む【図 5】

調査概要

大学のキャリアセンターの負荷は 2021 年卒と比べて「増えた」が 49.6%（前年比 12.3pt 増）と大幅に増加し、逆に「減った」は 4.5%（前年比 8.1pt 減）と、大きな変化がみられた。理由としては、説明会や個別相談における「WEB・対面でのハイブリッド対応」や、コロナ禍で悩む学生からの相談の増加、新たなオンライン設備の準備などが挙げられ、目まぐるしい変化の 1 年であったことがわかる。例年より、就職ガイダンスや学内業界セミナー・企業説明会の回数や参加人数は増加傾向となったが、コロナ禍でも積極的に開催されたのは、キャリアセンターの努力があってこそその結果と言える。【図 1】
【図 2】

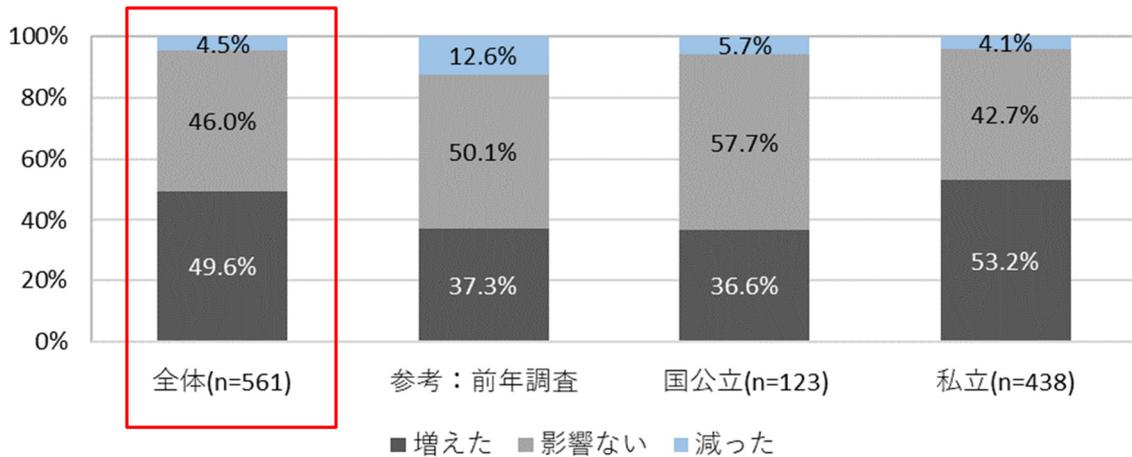
2022 年卒学生向け就職ガイダンスにおいて、全期間における延べ参加人数を見ると、「（前年より）減少」は 28.9%（前年比 9.2pt 減）に対し、「増加」は 29.1%（前年比 12.6pt 増）と、前年より参加人数は増加した。期間別にみると、緊急事態宣言の影響を受けた【前期（2020 年 3 月～8 月）】は減少傾向だが、【2021 年年明け（2021 年 1 月以降）】は「減少」が 22.8%で「増加」が 27.9%と増加に転じており、2021 年年明けから活発化したようだ。21 年卒の新型コロナウイルス感染拡大の混乱を経て、対面の感染予防対策やオンライン化が進み学生が参加しやすくなったこと、不安を抱える学生の参加意欲が高まったことなどが理由に挙げられる。【図 3】【図 4】

新型コロナウイルス感染拡大で就活のオンライン化が進む中、学内の就職支援においても WEB 利用がメインとなった。就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会について、「WEB での開催が 9 割以上」とする回答が、全て半数を超えた。

※就職ガイダンス（54.2%）、業界研究セミナー（62.4%）、学内企業説明会（56.3%）

地域や時期によって新型コロナウイルス感染拡大の影響は異なるが、キャリアセンターでも大いにオンラインを活用していることがわかった。【図 5】

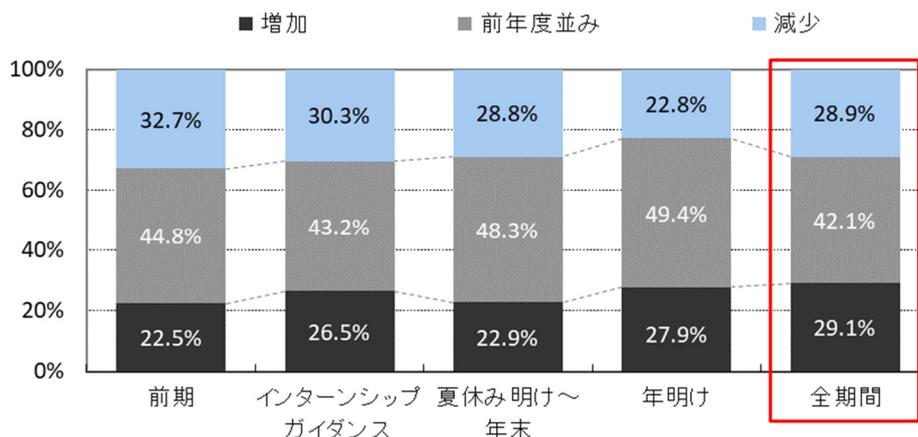
【図1】キャリアセンターの負荷の増減（2021年卒比較）



【図2】キャリアセンターの負荷増加の理由（自由記述）

エリア	学校区分	自由回答部分記載
関東	私立	20年卒と比較して、21年卒、22年卒はオンラインと対面とのハイブリッドとなり負荷は倍増している。21年卒は混乱の中での負荷増だったが、22年卒は現状把握のための手間と打ち手を増やすの両面で負荷は増えている。
関東	私立	オンライン、対面の双方での相談対応が増加し、カウンセラーを増員。また、障がいのある(傾向のある学生を含む)学生の対応、留学生の就職支援対応の負担が増えている。
甲信越	国立	オンラインガイダンス及びWEB個別面談の実施に伴う機材整備、オンラインガイダンス配信サイトの開設・整理作業、録画編集・アーカイブ配信作業など、通常業務に加えてオンライン化に伴う作業が増加した。また、コロナ禍における不安定な環境下で相談を希望する学生が増え、個別面談枠の増設やメール等での問い合わせ対応にもこれまで以上の対応を要しているため
四国	公立	オンラインでのチャット等のやりとりの件数増加、ES添削が気軽にできるようになり、職員の負担増。合同説明会の頻度を増やし、ガイダンス、イベント数を増加させた背景からも負荷が増加した。
関西	私立	オンライン等、様々なスタイルに適した行事運営や相談形態の準備等に時間を要した。また、コロナ禍での対面行事運営において以前よりも少人数制としたり、来場者は座席指定としたり、運営における準備の労力が増加した。
東北	公立	キャリアセンターが学生への連絡を増やしている事。学生へのキャリアセンター利用を強く促している事。キャリアセンター内が密にならないよう、予約制にしている事。学生のキャリアセンター利用率(同一学生が何度もリピートする事は多い)が上がっていること。
関西	私立	キャリア系科目(授業)をキャリアセンターで担当しており、オンライン授業化に伴う、オンライン教材の開発などが増えたため。
中国	国立	学生を大学に通学させない期間があったので、その間の相談方法としてZOOMや電話、メールを利用してしたが、対面より効果的ではなくその分時間も労力もかかる結果となった。

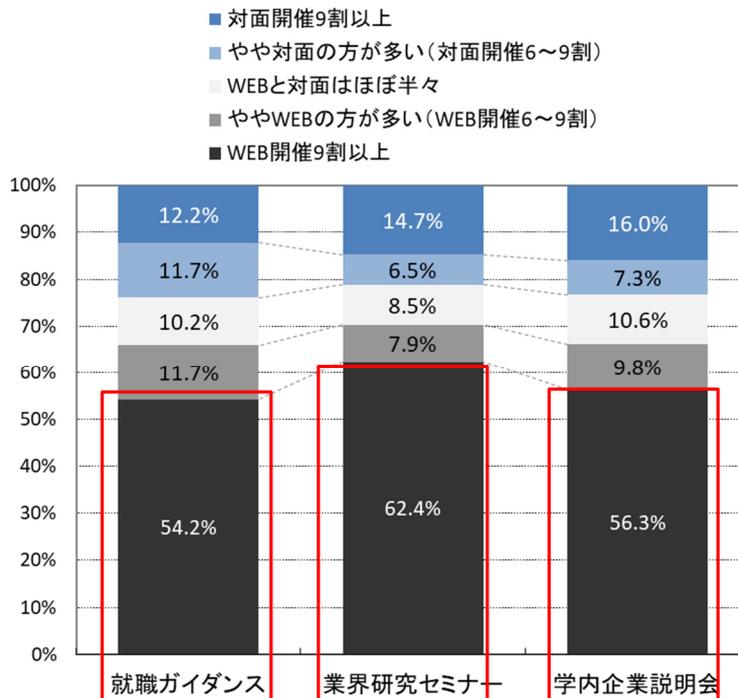
【図3】就職ガイダンス延べ参加人数の増減（開催時期別）



【図4】就職ガイダンス参加人数増加の理由

エリア	学校区分	自由回答部分記載
東北	私立	ガイダンスの実施回数が多かったこと、オンライン開催のガイダンスが多かったので、気軽に参加できたことが増えた理由の1つであると考えられる。また、コロナ禍で就活に危機意識が高まったこともあるかも知れない。
中国	国立	コロナの影響による就職市場の悪化を感じ、不安に思っている学生が多いため、早くから就職関係の情報にアンテナをはっているように思える。
九州	私立	22年卒学生のガイダンスはほぼオンラインで実施したため、自宅から気軽に参加できるという事もあり、全部のガイダンスで参加者の増加がみられました。
甲信越	国立	コロナ禍就活第1世代の21年卒の状況や日々のニュースから焦りを感じる学生が多く、その焦りがイベントへの参加意欲に繋がったと考えられる。
東海	私立	コロナ禍の影響で対面ではなくオンラインでの実施になったこと。大学への出校停止もあり、情報入手が困難であったこと。コロナ不況という情報もあり、学生の就活に対する不安が大きかったこと。
関東	私立	昨年度前期のガイダンスは新型コロナの影響で学生も不安があり、またライブではなく動画のオンデマンド配信だったため、いつでも視聴できるということで視聴者数(=参加人数)が増えたのではないかと考える。

【図5】就職ガイダンス、業界研究セミナー、学内企業説明会のWEBと対面の比率



調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください

【調査概要】『マイナビ 2021年度キャリア・就職支援への取り組み調査』

調査期間：2021年6月18日（金）～2021年7月16日（金）

調査方法：調査票を大学にメールにて配布。WEB上のアンケートフォームより回収

調査対象：全国の大学就職支援担当部署・窓口

有効回答数：601（学校別回答数：425大学＋キャンパス別の回答数：176キャンパス）

キャンパス別とは・・・同じ大学でも就職窓口が個別に存在し、独自の支援を行っているケースがあるため、各1回答として集計

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 キャリアリサーチラボ 主任研究員 宮地
 Tel：03-6267-4571 Fax：03-6267-4145
 Email：myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
 社長室 広報部 渡邊
 Tel：03-6267-4155 Fax：03-6267-4050
 Email：koho@mynavi.jp